

# はじめてお使いの方に

スタートアップ・マニュアル



PVC244 SET

PEC100BR SET

*PlayTech*

入門用チェロ

## PVC244 SET

- 弓 •ソフトケース •松脂
- チューニング・メーター
- エンド・ストッパー

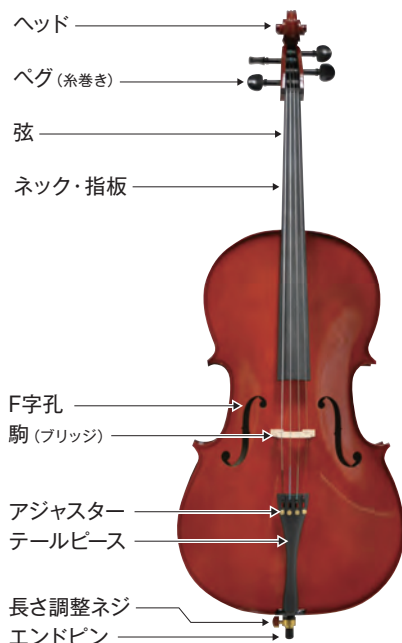
エレクトリック・チェロ

## PEC100BR SET

- 弓 •ソフトケース •松脂
- ケーブル •ヘッドホン •クロス
- チューニング・メーター

この度は、PLAYTECH CELLO をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この冊子では、調弦の方法、楽器の取り扱い方等を記してあります。是非お役立てください。

# 各部分の説明



付属のエンドストッパーは、必要に応じてご使用ください (PVC244のみ)



ゴムを外したエンドピンの先端は尖っています。ご注意ください

**コントロール部分※**

※エレクトリックチェロのみ

**ご注意**

電池は別売です。テスト用電池が付属している場合がありますが、必ず新しい電池をご用意ください

## 胸当て (エレクトリックチェロのみ)



演奏時は背面の胸当てを立ててください

※胸当てを持って楽器を運搬しないでください

# チェロの置き方

## 立てかける場合

部屋の隅などに背面が見える向きで置く  
と安定します



## 床に置く場合

魂柱の立っている  
高音側を下にします  
(PVC244のみ)



# チューナー / メトロノームの説明



電池（単4電池×2）は別売です。稀にテスト用電池が装着されている場合がありますが、必ず新しい電池をご用意ください

|   | 長押し時 (2秒) の操作       | チューナー使用時 | メトロノーム使用時           |
|---|---------------------|----------|---------------------|
| ① | 電源 ON / OFF         | 基準音を止める  | メトロノーム START / STOP |
| ② | チューナー / メトロノーム 切り替え | 基準音を止める  | 拍子の切り替え             |
| ③ | —                   | ピッチを下げる  | テンポを落とす             |
| ④ | —                   | ピッチを上げる  | テンポを上げる             |
| ⑤ | —                   | 基準音を鳴らす※ | RHYTHM              |

※ 基準音は⑤のボタンを押す度、昇順に半音階で切り変わります

（ 実際のチェロの音程はチューナーの発信音とは音域が異なります。例えば A線の開放の音は220Hzですが、チューナーの発信音は440Hzで1オクターブ高くなっています ）

## 付属クリップ・マイクの取り付け場所

（ 内蔵マイクからも、音を拾うことができますが、クリップマイクの使用を推奨します ）

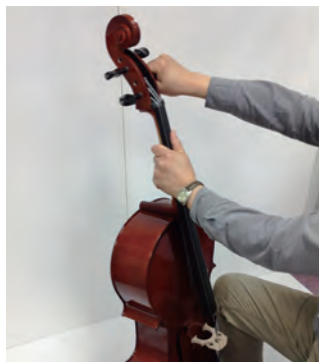
※エレクトリック・チェロは、背面のプリアンプとチューナーのインプットをケーブルで接続して使用できます



# 調弦 (チューニング)

## 調弦時の姿勢

右写真の様にチェロに向かって座ります。  
ネックを左手で持ち、左親指の腹で弦をはじいて音を鳴らします



## ペグの扱い方

A、D（高音側）は右手でペグを操作します。  
G、C（低音側）は手を持ち換えます

(1弦) (2弦) (3弦) (4弦)  
**A → D → G → C**  
の順で合わせるのが一般的です

（ ペグは摩擦で止まる仕組みなので、内側に押し込み気味に操作します。回しすぎに注意しながら、ゆっくりと調弦してください ）



## アジャスターの扱い方

調弦前に、高さを左右どちらにも回せるように、中間程度の位置にしておきます



## 調弦方法

01

チューナーの「♪ボタン」を押して  
基準となる音を聴いてください

（ 付属のチューナーが「チューナーモード」  
になっていることを確認ください ）



02

チューナーで音程を確かめながら、  
ペグを回して音を合わせていきます

（ チューナーの針が、中心に来るように  
合わせていきましょう  
※オクターブの誤認に注意してください ）



03

最後に、テールピースのアジャスター  
を用い、微調整して仕上げます

（ ペグだけでは正確なチューニングが  
難しい為、アジャスターを使って微調  
整が必要になります ）



チューニングの手順は動画でも紹介しているので  
ご活用ください（約3分） ▶



調弦には「駒の姿勢の確認と修正」という動作も必須です  
詳しくは、6ページをご覧ください →

楽器は届いた状態で、音程が合っていることはありません。まずは、調弦ができるようになることが第一歩です。調弦に慣れると、おおよその見当がついてきます。最初はあわてずに、順を追って行なってください

# 駒の姿勢確認

## 重要 「調弦」と「駒の姿勢の確認」はセットで

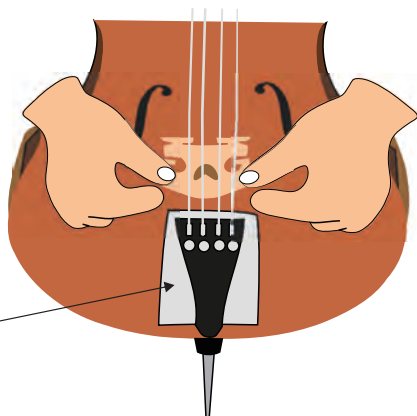
調弦（チューニング）をすると、弦の動きで駒が前傾に動きます。これを修正しないで使うと、駒が倒れたり、変形したりします。駒を横から見て、傾きの角度を確認してください

01

椅子に座り演奏する時の形で抱えて、駒の上部を両手で持ち、傾きを修正してください

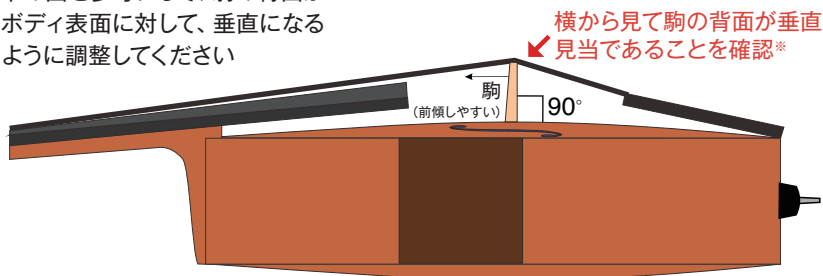
チェロの弦は張力が強いので、弦を少し緩めてから行いましょう

万が一、駒が倒れた際に、テールピースがボディに当たって傷つかないように、クロスなどを敷いておきましょう



02

下の図を参考にして、駒の背面がボディ表面に対して、垂直になるように調整してください



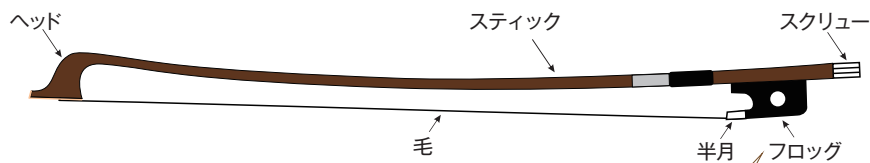
※エレクトリック・チェロの場合、コマの背面=90°は大体の目安とお考えください

03

駒の姿勢は調弦をしながら、複数回チェックします。また、日常的に駒の姿勢を確認する習慣をつけましょう

調弦は音程を合わせると同時に、楽器全体のバランスを整える重要な作業です。慣れが必要ですが、あわてずに、じっくりとおこなってください

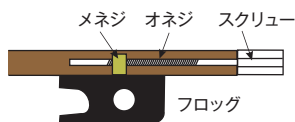
## 弓の調整 / 松脂の塗り方



01

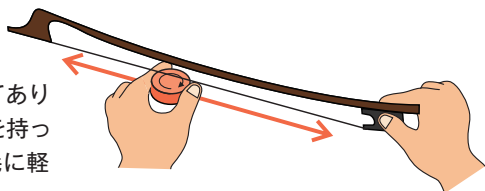
スクリューを時計周りに回し、毛に張りを持たせ松脂を塗り足してください。毛の張り加減は、弦を弾いて音が出る程度が目安となります

弓の内部は図のようになっています



02

弓にはあらかじめ松脂が少し塗ってあります。松脂を左手に持ち、右手で弓を持って毛を張った状態で松脂の表面を毛に軽く押し当て、全体に塗り足します



松脂自体を回転させながら、松脂全体を均等に減らすイメージで、毛にむらなく塗ります

03

弦を軽く弾いてみて、むらなく音が出れば充分塗れています。塗り過ぎないように注意しましょう

注) 弾き終わった後は弓をゆるめてください。  
毛が伸びると使えなくなります

調弦、駒の姿勢確認、弓を張り、松脂を塗ったら、右の写真のように弓を持って開放弦を弾いてみましょう！



弦楽器は音を出すまでの準備が非常に重要です。じっくり、あわてず、チェロをお楽しみください

---

## 株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3 TEL: 0476-89-1111 FAX: 0476-89-2222

Website <https://www.soundhouse.co.jp> E-mail [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)